

THE ROTARY CLUB OF TOKYO JOHOKU WEEKLY REPORT

東京城北ロータリークラブ週報

令和3年12月10日発行 No.2460⑪

「持続可能な奉仕活動」 Sustainable Service Activities
会長/甲斐宏・副会長/岡田康宏・幹事/小川光生・広報委員長/原田令子

本日例会のプログラム

◆ 本日の例会

「まもなく創業 100 年」

杉山剛正会員

- 開 会 点 鐘
- 開 会 挨拶
- ローターソング “我らの生業”
- 季節の歌 “テネシーワルツ”
- 来客紹介
- 出席報告
- 会務報告
- ニコニコ報告
- 幹事・委員会報告
- 卓 話
- 閉 会 点 鐘

◆ 次回の例会卓話 12/17(第2461回)

家族親睦忘年会

点鐘 : 18時
於 : ヒルトン東京 3階「桜」

CLUB REPORT

- ・クラブ年次総会は12月3日(金)別記議案が決議され終了いたしました。

SECRETARY'S REPORT

- ・次週12月17日(金)家族親睦忘年会 18:00～ 点鐘
- ・次回例会 2022年1月7日(金)です。
- ・12月7日(火) TCPRCへ今年度のご挨拶に会長・幹事で伺いました。

Committee News

★2022年1月7日(金)

新年懇親会
「新春コンサート 2022」

アマービレ

<本日のメニュー>

和風弁当

第6回理事役員会議事録

日時：2021年12月3日(金) 11:30～
場所：ホテル3階「ことぶき」
出席者：出席9名 欠席2名 (敬称略)
甲斐・小川・岡田・林・杉山・佐山
原田・金谷・藤重

司会：小川

議事：

議事

1. 2023～2024年度会長ノミニー指名の件
・山川会員を会長ノミニーに選出する事の承認。

2. 2022～2023年度理事・役員ノミニー指名の件
・本日のクラブ年次総会で岡田会長エレクトより、理事役員ノミニーを推薦する事の承認。

3. 年次総会審議事項の件
・会長ノミニー(山川会員)、理事役員ノミニー選出の件を審議事項とする。

4. 下期会費請求の件
・上期と同額、同様とする

5. 新入会員推薦について
田邊雅博さん(佐山政昭会員紹介・11/12例会にご参加)
⇒法人として考えることを検討。

6. 地区大会 選挙人(代議員)選出の件。
1名、事務局員派遣
・会長が地区大会選挙人となる。
・3月3日本会議受付に事務局員派遣

7. 年始クラブ懇談会の件 SAA委員長
2021年1月7日(金)
・検討中。稲葉洋子さんにご依頼

8. 報告
・小学生作文コンクール 小学校に依頼する。
・TCPRCとの合同例会 4月8日(金)18:00～ヒルトン東京にて。ホストクラブは城北RC。
・ロータリー希望の風奨学金 支援について R財団委員長杉山くんより、城北として支援を考えたい。⇒ 支援する。

以上 承認されたことをご報告いたします。

幹事 小川光生

第1回被選理事役員会議事録

日時：2021年12月3日(金)13:30～
クラブ年次総会後「桜」にて

司会：岡田

議事：

次年度理事・役員及び各委員会分担表を配布しました。

1.次期理事互選の件

以下のとおり、指名され承認されました

会長エレクト：山川一樹

会計：岡田康宏 幹事：山川一樹

直前会長：甲斐 宏 副幹事：金谷克也

2.次期委員会構成・委員長指名件(役員)

クラブ奉仕：佐山政昭(役員)

奉仕プロジェクト兼 社会奉仕

：原田令子(役員)

青少年奉仕：林 弘之(役員)

会員増強：小川光生(役員)

R財団：杉山剛正(役員)

国際奉仕兼 カウンセラー

：甲斐 宏

職業奉仕兼 公共イメージ向上

：池田竜郎

広報：甲斐 宏

会場監督：藤重慶子

3.その他 今後の予定 11:30～

次年度理事役員会・クラブ協議会日程

第2回被選理事役員会 2022年2月25日

13:30～

第1回次年度クラブ協議会 2022年4月15日

第2回次年度クラブ協議会 2022年5月20日

第3回被選理事役員会 2022年6月17日

今月の兼題 なし

- 1 ▲④ 落ちてなほ枯蟻のひかりたる (村田) 越、杉、山、明
- 2 ▲② 初紅葉グリーンに重なりし (杉山)
- 3 ▲① 小春日に憂い無き様猫あくび (越)
- 4 ▲① 木の実降る野辺やひと日の影長し (明子) 杉、明
- 5 ▲① 人混みや小さな熊手雨の夜 (山下)
- 6 ▲② 食卓に葉の山よ冬の夜 (楠田) 越、村
- 7 ▲① 手を汚し母に叱らる落ち葉掻 (越)
- 8 ▲② 一本の飛行機雲や神の旅 (村田) 越、山
- 9 ▲① 柿剥きて皮厚く落つ流しかな (杉山) 村
- 10 ▲① 虫の音が大きく響く夜長かな (山下)
- 11 ▲① 黄落を眺むる人に色多し (明子)
- 12 ▲① お揃ひのマスクもお洒落七五三 (楠田) 杉 以上12句

☆「短評」

城北句会も数えて8年4カ月、メンバーもスタート時の9名から、飯島さんが亡くなられ、渡辺さんが退会、松田さんが休会され、新しく西脇さんが加入されて7名になったが、月一回の句会は一度も休むことなく続いたのは称賛に値するのではないだろうか。高齢化も進み、この句会が何時まで続くか分からないが、元気である限り行くところまで一歩行きたいものだ。

1番村田さんの句、枯蟻とは誠にユニークな季語が使われたが票も4票集めた。カレカマリとルビをふったが、作者から「カレトウロウ」と訂正するように言われて訂正。私の手元にある3冊の歳時記で調べると、一冊は「身体の色が枯葉色に変わった雌のカマキリのことと言う」と解説されていた。しかし他の2冊はその解釈は間違とあった。「昔の人はカマキリも草木と一緒で秋になると緑が褐色に変化したと考えたが、蟻には元々緑色と褐色のものがいて、途中から色が変わることは無いとのこと。従って「蟻は枯る」と言う季語の使い方は事実と反するが、季節感を感じさせる言葉として今も使われているとの解説が載っていた。作者は「枯蟻」は言うなれば蟻の死骸」と言っているが、この枯蟻も死んではいないが尚光っていたのだらう。ただ、この褐色のカマキリは、秋になって褐色になったり、死んで褐色に変化したのではない。最初から褐色の蟻だったのだ。「枯蟻」と言う珍しい季語を使ったのは勇氣ある選択だったと思う、日頃の勉強の成果が出た。

8番の句、季語「神の旅」、これはまた珍しい季語を使っている面白い。歳時記によれば、旧暦10月には神々が出雲大社に参集するので、そこに向かうことを神の旅と言ふとある。一本の飛行機雲とよく響き合っている良い句に出来上がっている。

澄み切った秋晴れの中、一本の飛行機雲が西に向かつて尾を引いている、あの雲に各地からの神々が乗って出雲大社に向かっているのだ、一体どんな話し合いをするのだろうかと思像するだけで楽しい気分にはさせられる。常日頃から歳時記を紐解き、季語の使い方を勉強している成果。

2番杉山さんの句、初紅葉だから一寸色付き始めた頃か、ゴルフ場のグリーンに薄紅葉色した紅葉と旗の色とが溶け合った様子を詠んだ句、大自然の懐でゴルフを楽しんでいる様子が伺える。もっと分かり易い句にしては、「初紅葉山に向かひてナイシヨット」。

9番の句、作者が慣れぬ手付きで柿の皮を剥いている様子がよく出ていて面白い句だ。今年是我が家が買い物に出かけることが特に多くなった。野菜や果物を良く買う

が価格の変動が良く分かって買いたい物も結構楽しい。果物は梨、葡萄、柿を良く買ったが、特に柿が美味しかった。柿は自分で皮を剥くことも多いが形が梨やリンゴと違って皮が剥き難い。慣れないので手つきも危なっかしい。作者も私と同じような危なっかしい手つきで皮を剥き、薄皮ではなく厚皮になったのだ。

3番越さんの句、コロナ禍では、自宅の暖かい縁側で愛猫と戯れているのが一番平和で安全なのだ。世間は憂い事だらけだが猫には何の憂い事も無く、日永のんびり過ごしている。「猫あくびもつられる小春かな」。

7番の句、一寸平凡でありふれた題材になったので感動の無い句になった。「手を汚し母に叱らる」が説明になっているのが気になる。「叱らる」も無理して締めたが正確には「叱られる」である。「叱られてベそかく少女落葉掻き」。

4番明子さんの句、秋のゴルフ場での光景、この時期は思わず踏みしめたくなるほどびっしりと団栗が積もっている場所がある。大自然に抱かれての日永一日、陽が西に傾き始めればぼつぼつ影も長くなって来る。平穏な一日に感謝の気持ちを素直に詠んだ。切れ字「や」の使い方に一工夫をしては

「木の実降る野辺のひと日や影長し」。中七で切る方がリズムが出る。

11番の句、はらはらと降りしきる紅葉葉を沢山の人が眺めている光景を詠んだ句であるが、下五の「色多し」が上五・中七と調和しない。見物客がカラフルな衣装を身にまとっていることを「色多し」と表現したが「一寸雑に纏め過ぎた感がある。普通はそのような表現はしないはずだ。「黄落を眺むる人や派手衣装」。

5番山下さんの句、11月の酉の市は各地の神社が賑わうが今年はコロナ禍で活気を取り戻したのだろうか。「人混みや」の上五の切れ字「や」が生かされていない。「人混みに小さく揺れる熊手かな」。

10番の句、「虫の音」「夜長」とも季語だがここは「夜長」の方がメインの季語と思う。作者も季重なりを承知の上で敢えて季重なりにしたのだろうか。夜が更けて辺りが静かになってくると虫の音が一段と轟しくなってくる。原句のままではやや平凡な句になった。「虫の音がピタリと止みて夜長かな」とすれば虫時雨の騒音と静寂が際立つのではないだろうか。

「自句自解」楠田智昭

6番の句、若い頃から見れば何と服用する薬の多くなったことか。昔は血圧の薬のみだったので、沢山飲んでいる人の話を聞くとよくもそんなに飲んで身体を壊さないのかと思っていたころもあった。ところが八十歳を過ぎて毎日毎晩飲む薬の量に我ながら心配になる。特に夕食後は何種類もの薬を呑むので食卓に薬袋が山積みとなる。せめて一種類でも一錠でも減らせるものならば減らしたいと思う毎日だ。

12番の句、街を歩いていて4〜5歳の親子ずれに出会った。揃いのマスクがとてもお洒落で良く似合っている親娘。七・五・三のお祝いの和服も良く似合っていてとても可愛かった。

マスクと七五三が季語で季重なりは承知の上での作句。

季重なりは良くないと言われているが絶対ではないことはこれまでも説明して来ている。無意識に季重なりをしているのは論外だが、承知の上でどちらも外せなくて且つ主従の関係が明白であれば季重なりは問題ないことはこれまで何度も説明してきている。今回は初めて季重なり句に挑戦してみた。この句の場合の季語の主従関係は、「マスクもお洒落」で分かるように、マスクが主である。また、マスクは冬の季語であるが、コロナの時代となり、季節を問わず年中マスクは身に付けねばならぬ必需品となって来て季節性も薄らいできたとも言える。

先週の例会記録 (第 2459 回) 12/3 No.10

於：「桜」

- 司 会 金谷 S A A 委員長
 - 国 歌 “君が代”
 - ロータリーソング “奉仕の理想”
 - 来 客 紹 介
 - 出 席 報 告
- (12/3) 出 席 率 94.12 %
(11/12) 修正出席率 88.89 %

□ ニコニコボックス

- 甲斐 会員 クラブ年次総会、よろしく。
- 小川 会員 12月に入りました。お風邪に気を付けて下さい。
- 林 会員 志賀高原熊の湯スキー場に初滑りに行きました。気温は -7℃でした。
- 田辺 会員 今朝の地震、驚きました。
- 杉山 会員 ロータリー希望の風奨学金、ご寄付よろしくお願ひします。
- 佐山 会員 早いもので今年も余すところわずかとなりました。コロナに負けない様気を付けておすごしください。
- 原田 会員 年次総会宜しくお願ひいたします。
- 岡田 会員 次年度の理事・役員を発表します。よろしくお願ひいたします。
- 渡辺 会員 12月です。風邪に気を付けて。

例会卓話

「クラブ年次総会」

会長エレクト 岡田康宏会員



会長ノミネー 山川一樹会員



次年度副幹事 金谷克也会員



例会風景



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

THE ROTARY CLUB OF TOKYO JOHOKU

<事務局>

〒164-0012

東京都中野区本町 4-47-3 溪山館 N 棟 203

TEL : 03-5935-4404 FAX : 03-5935-4405

E-mail office@tokyo-johoku-rc.com

<例会日> 毎週金曜日 12 : 30 ~ 13 : 30

<例会場> ヒルトン東京

<http://www.tokyo-johoku-rc.com>

Rotary
Club of Tokyo Johoku

